

光化学オキシダントの測定結果（平成26年度）

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成26年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間（午前5時から午後8時まで）の1時間値の最高値が最も高かったのは、岐阜北部測定局の0.124ppm でした。

なお、「岐阜県大気汚染対策要綱」に基づく光化学スモッグ注意報の発令は、ありませんでした。

地域	測定局名	昼間 測定日数 (日)	昼間 測定時間 (時間)	昼間 年平均値 (ppm)	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時間数 とその割合		昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日数と その割合		昼間の 1時間値 の最高値 (ppm)	日最高 1時間値 の年平均 (ppm)	環境基準 の適否 ○否×	平成25年度	
					時間	%	日	%				昼間 年平均値 (ppm)	環境基準 の適否
岐阜	岐阜中央	365	5,442	0.036	594	10.9	103	28.2	0.114	0.051	×	0.035	×
	岐阜南部	365	5,438	0.035	555	10.2	96	26.3	0.114	0.050	×	0.034	×
	岐阜北部	333	4,923	0.036	582	11.8	105	31.5	0.124	0.052	×	0.033	×
	各務原	360	5,341	0.035	572	10.7	98	27.2	0.119	0.050	×	0.036	×
	平均			0.036									0.035
西濃・ 羽島	羽島	363	5,362	0.033	381	7.1	80	22.0	0.104	0.048	×	0.032	×
	大垣中央	365	5,412	0.032	319	5.9	66	18.1	0.099	0.045	×	0.030	×
	大垣南部	365	5,427	0.035	496	9.1	92	25.2	0.108	0.049	×	0.034	×
	平均			0.034									0.032
可茂	美濃加茂	361	5,340	0.034	678	12.7	114	31.6	0.123	0.052	×	0.033	×
東濃 西部	笠原	365	5,418	0.030	355	6.6	69	18.9	0.103	0.046	×	0.032	×
恵那・ 中津川	中津川	365	5,419	0.031	506	9.3	95	26.0	0.120	0.049	×	0.032	×
飛驒	高山	365	5,391	0.032	316	5.9	54	14.8	0.098	0.045	×	0.029	×
乗鞍		290	4,269	0.039	39	0.9	13	4.5	0.071	0.045	非適用	0.040	非適用
県平均				0.034				24.5				0.033	

備考) 1 県環境管理課調べ

2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す

3 環境基準に適合しているとは、1時間値が0.06ppm以下であることを示す

4 県平均に、乗鞍測定局は含まない